

進路だより

2026年4月10日

第1号

札幌市立八軒東中学校

進路通信

3年生の皆さん、保護者の皆様、今年度も本校の進路係（進路指導主事）を担当させていただき蒲澤（かまさわ）です。高校の学校説明会や各種奨学金の案内などをお伝えしたり、出願手続きに関する説明や、願書の回収、高校への提出など、中学校卒業後の進路に関わる業務を行います。進路に関わって、何かご質問などがありましたらお気軽に学校までご連絡ください。1年間よろしくお願ひいたします。

さて、3年生のみなさんは、「最上級生」「受験（検）生」として新たな気持ちで、意欲的に過ごしていることと思います。その意欲を行動に移し、どう継続させていくかが自己の進路を確実なものにしていくうえでの重要なカギになってきます。今年は義務教育のまとめの年、いよいよ「中学校卒業後の進路を決定する年」になります。必要以上に緊張することはありませんが、少しずつ自分の考えをまとめ、準備していきましょう。

※公立高校の入学試験は「受検」と表記します。

■「進路を考えること」イコール「高校選び」でしょうか？

来春、中学校を巣立った後、皆さんは、個々の目指す目標に向け、違う道を進むこととなります。もうすでに、どこの高校を受験（検）しようかと思いを巡らせている人もいると思いますが、ややもするとランクと学力テストの点数だけで高校を選んでしまうこともよくあります。でも、それだけで十分でしょうか。

いずれはみなさんも社会人になります。10年後、20年後の自分はどんな姿か、その先どういう生き方を目指すのか、どのような形で社会に貢献したいのか等を考えることが本来の進路です。進学を目指す人は、少しずつでもいいので自分が目指すものを実現するために何をどうがんばるのか、どんな力を身に付けたいのかを考えたうえで「だからこの高校に進みたい」という高校の選択ができることを願っています。

自分の進路は自分で決める

進路は先が見えないから不安なもの。けれども、「不安だ。何をしたいかわからない。」と言って、何も取り組めないのが一番怖いことです。自分の能力・適性、興味・関心、将来の夢や希望などしっかりと向き合い、進路先の特色を理解することが大切です。担任の先生、学年の先生のアドバイスを受けながら、「今から、ここから」スタートをきってください。先生方もみんなのこれからを応援します。

今の自分を振り返ってみましょう。

- ① 生活面
 - ・良い人間関係が築けていますか。
 - ・約束事やマナーを守り、けじめのある生活を送れていますか。
- ② 学習面
 - ・授業を大切に、積極的に参加していますか。
 - ・家庭学習を計画的に行っていますか。

※進路を考える上でも、基本的な事柄を大切に、何事にも一生懸命取り組み自分を向上させるよう心掛けてほしいと思います。

→裏面へ

これから自分の進路を考えていくために

① 自分で調べる

6月に「進路のしおり」を配付予定です。また、高校のパンフレットも各学級に配られます。インターネットで各学校のホームページを調べることもできます。例年、ほとんどの私立高校で学校説明会や体験入学が行われます。また、公立高校でも学校説明会が多く開かれるようになりました。6月～7月にかけて学校祭が一般公開されることもあります。人に聞くことも大切なことですが、自分から進んで調べることはとても大切です。

例：北海道教育委員会のホームページの「組織から探す」から「▶ 道立学校」を選び、「道立高等学校ホームページ」から北海道内のすべての公立高等学校のHPに簡単に見ることが出来ます。

(<http://www.hokkaido-c.ed.jp/kouritsu/index.html>)

検索エンジンで「道私学」と打ち込み、「私学ナビHOKKAIDO 北海道の私立学校紹介」を選ぶと北海道私立中学高等学校協会のトップページ（私学ナビHOKKAIDO）につながります。ここから北海道内のすべての全日制私立高等学校と一部の私立通信制高等学校のHPを見ることが出来ます。また、「制服一覧」や「私立小中高生への就学支援制度」などのページを閲覧することも出来ます。

(<http://www.doshigaku.jp/>)

② 自分をみつめる

将来、自分に合った仕事や職業は何か、どんなことをやりたいか、どんなことに向いているかを判断します。そのため、高校では何を学び、何をするのか、よく考えなければなりません。今から自分をみつめ、「好きなこと」や「やりたいこと」を考えてほしいと思います。また、自分の「長所」をみつめ、より一層自分を伸ばしていくよう心掛けましょう。

③ 自分から相談する

3年生になると教育相談日以外にも担任の先生による進路相談が行われます。疑問に思うことや不安に思っていることは相談日以外でも進んで相談してください。自分の考えが整理されたり、いろいろな考え方が身に付いたり、進路に関する情報が得られたりします。一人で悩まずに相談してください。

■ご家庭のみなさまへ

自分の進路は自分で決めるとは言っても、中学3年生の目の高さで見た社会と、大人の目の高さで見た社会は、違って見えるはずですし、視野の広さも大人の方がずっと広いはずです。お子様に、こうなってほしいというような願いや、人生の先輩として、仕事のうえの悩みや夢や、生きていくことの厳しさや素晴らしさをできるだけ多く伝えていただきたいと思います。そのことが将来への夢や希望をもたせることにつながると思いますし、当面の進路への意欲や努力目標につながっていくものだと考えられます。ご協力をお願いいたします。

また、「進路希望調査」「願書」「入学意志確認書」などの~~不~~切のある提出物は、内容に関わらず、必ず期限を守って期間内に提出してください。

「進路だより」「高校のパンフレット」「奨学金の案内」など、これから進路に関わるさまざまな配布物をお配りします。必ず全てご覧いただき、また保存しておいてください。

特に「奨学金の案内」など、お金にかかわるプリントは、お子様から必ず受け取りご覧ください。

~~不~~切が過ぎてしまうと、申請することができません。ご注意ください。